

令和3年（2021年）度高校向け「文系チャレンジ講座」

回数	日時・場所	講師名	講義題目	講義概要（250字程度）
1	5/19（水） 16.30-17.30 経済学部203号	経済学部 小野 宏	日本の財政	みなさんは日々の生活の中で、政府がどのような活動を行っているのかを考えることは少ないと思います。しかし、政府が行っている活動は、我々の生活に大きく関係しています。そして、我々が住んでいる地域の状況にも大きく関係しています。近年、日本の財政の状況は大きく変わっています。しかも、日本の財政は解決しなければならない課題に直面しています。そこで本講義では日本の財政について、いくつかのトピックスを取り上げ、経済学の観点から見ていきたいと思っています。
2	6/16（水） 16.30-17.30 経済学部203号	福祉健康科学部 三好 禎之	住民参加型健康づくりと地域創生に関する研究	少子高齢化が進行する日本社会は高齢化率が2012年24.1%を上回ったことから、国民の4人に1人が高齢者という超高齢社会に突入した。一方、2016年、厚生労働省第11回健康日本21推進委員会資料によると、日常生活に制限のない期間としての健康寿命は、男性で72.14歳、女性で74.79歳であり、平均寿命との差は、男性8.84歳、女性12.35歳の差があるという。これらは健康に生きることのできない期間、または、人の手を借りることになる期間としてとらえることができる。超高齢社会を向えた現代社会の課題は、膨大に膨らむ社会保障費の削減、圧縮という観点に留まらず、自分の力で自己の人生を全うし、幸せな期間を創生する社会づくりが希求されている。つまり、平均寿命と健康寿命が示す2つの期間を圧縮することができれば、健康期間を延伸することにつながり、幸せに資するという考えである。こうした観点に立脚すると、平均寿命と健康寿命の差をなくす施策や介護予防実践の開発、そして、その担い手の養成が喫緊の課題であるといえよう。

回数	日時・場所	講師名	講義題目	講義概要 (250 字程度)
3	7/21 (水) 16.30-17.30 経済学部 203号	経済学部 大呂 興平	日本の農業は保護されるべきですか？	皆さんが社会に出て直面する問題は、高校までの勉強の、あらかじめただ1つの解答が与えられた「問題」とはちがひ、単純な答えがなく様々な意見が錯綜する、とても複雑な問題です。そうした問題を考えるには、問題を客観的かつ多面的に捉えられる、たしかに「見方」が必要です。大学で学ぶ重要な目的は、この見方を身につけることです。本講義は、「日本はTPPに参加すべきか？」という、かつて日本の自由貿易協定への参加をめぐって国論を二分した「問題」を振り返ることで、こうした見方の重要性を実感してもらいます。
4	9/15 (水) 16.30-17.30 経済学部 203号	教育学部 藤田 敦	わかる心, 学ぶ心の心理学－教育心理学への招待－	生まれたときから、わたしたちの心は、周りの世界のことを「わかろう」「学ぼう」と一生懸命になります。人は、世界を「わかる」ことで、安心感を抱き、さらに広く深く「学ぶ」意欲がわいてきます。 この講義では、教育心理学や認知心理学の研究を紹介しながら、学ぶ心の仕組みや、人によって異なる学びのスタイルについて考えてみます。そもそも「わかる」「学ぶ」とはどのような心理なんだろうと基本的な問いに戻ってみれば、学校での日々の学びの意味についても問い直してみるきっかけになるかもしれません。
5	10/20 (水) 16.30-17.30 経済学部 203号	経済学部 中本 裕哉	身の回りの統計学: ある高校生の模試結果を例に	私たちの身の回りには統計学が溢れています。保険料の計算、選挙結果の速報、薬の効果の判定など例を挙げればきりがなくらい。高校生の皆さんは模試を受けると偏差値がいくらであったか、友人や先生と話題になることでしょうか。ところで、偏差値がどのように計算されているかご存知でしょうか？また、偏差値から何が分かるのでしょうか？この講座では大学で学ぶ統計学の魅力や面白さを簡単な計算例（四則演算ができればオッケー！）を使って紹介します。

回数	日時・場所	講師名	講義題目	講義概要（250字程度）
6	12/1（水） 16.30-17.30 経済学部203号	福祉健康科学部 中里 直樹	Well-being とは何かー日本人の幸せについて考えるー	心理学は様々なトピックを幅広く扱いますが、我々の Well-being（幸福度）についても研究対象としてきました。今回の講義の前半部分では、なぜ学問的には Well-being と呼ばれることが多いのか、その定義から始まり、どのような要因（人間関係、お金など）が関わるのかについてお話しします。後半部分では、日本人の Well-being の相対的な低さについて説明し、また、世界各国の社会の特徴を紹介しながら、より高めていくためにはどのようにすれば良いのかについて皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。
7	12/22（水） 16.30-17.30 経済学部203号	教育学部 藤井 康子	これからの社会の中で美術が果たす役割	美術は子どもから大人まで、性別や障害、文化、国、そして時を超えて全ての人を楽しみ、共有できるものです。科学技術の発展や時代の変化に伴い、美術の表現や価値観も変化し、多様化してきました。美術は他者とのコミュニケーションの手段の一つであり、人の心を動かしたり、感性を育んだり、新たなアイデアや価値を生み出したりして私たちの生活を豊かにする力があります。その一方で、この時代において美術とは何かが分かりにくくなっているところもあり、学校での美術の授業時間数が減少する傾向にあります。本講座では、これからの社会の中で美術が果たす意義や役割について皆さんと一緒に考えてみたいと思ひます。
8	1/26（水） 16.30-17.30 経済学部203号	経済学部 碓 邦生	Bizつく！ー1時間で始められる学生起業ー	経営学とは、主に『ヒト・モノ・カネ・情報』という4つの視点から、企業や自治体などの組織の活動を研究する学問です。具体的には、「ヒト＝人材マネジメント論」「モノ＝商学・マーケティング論」「カネ＝財務会計論」「情報＝経営戦略論」という4つの研究領域が対応します。本講義では、この4分野を包括的に体感できる「ビジネス・アイデアの創出」に焦点を当て、グループワークを通して経営学を体験してもらいます。本講義で作成したアイデアから、高校生社長が生まれるかも？